

シンポジウム「自閉スペクトラム症 (ASD) における言語と共感」

趣旨： 自閉スペクトラム症 (ASD) の特徴の一つは、言語の社会的運用に支障が生じることであり、それが当事者の生きづらさの要因ともなっている。本シンポジウムでは、言語学、心理学、医学、神経科学等様々な分野の研究者が ASD の言語使用、社会情緒的機能、知覚等の特徴に関する実証的知見について話題を様々な提供した上で、ASD の臨床専門家や当事者の方々の談話を聴く。それらを通して、多様で混沌とした現代社会における理想的なコミュニケーションのあり方を考える。

日時： 2022年8月11日 (木・祝) -12日 (金) 2日間開催

開催形態： ハイブリッド東北大学×Zoom (状況が悪ければZoomのみに切り替え)

場所： 東北大学片平キャンパスさくらホール

主催： 科研費「文末助詞の階層における情動計算不全としての自閉症の言語障害」(代表・幕内充)

共催： 東北大学大学院文学研究科、国立障害者リハビリテーションセンター高次脳機能障害研究室、科研費「OS言語からみた「言語の語順」と「思考の順序」に関するフィールド認知脳科学的研究」(代表・小泉政利)

プログラム案：

1日目：2022/8/11(木・祝)

10:00-10:10	趣旨説明：木山幸子 (東北大学文学研究科・准教授)
10:10-12:10	セッション1: ASDの言語使用－終助詞に注目する理由－ 司会：和田真 (国立障害者リハビリテーションセンター・発達障害研究室長)
50min	招待講演：綿巻徹 (鎮西学院大学現代社会学部・教授) 「言語学を自閉症研究に繋ぐインターフェースとしての「共感獲得」」
40min	話題提供：直江大河、鈴木あすみ、幕内充 (国リハ・高次脳機能障害研究室) 「ASDと終助詞使用の関係：コーパスデータ、産出実験、fMRI実験による検討」
30min	話題提供：那須川訓也 (東北学院大学文学部・教授)、宋歌、木山幸子 (東北大学) 「日本語終助詞の長さ自閉スペクトラム」
10min	ディスカッション
昼休み	
13:10-16:00	セッション2: 東アジア言語の文末詞 司会：遠藤喜雄 (神田外語大学言語科学研究科・教授)
50min	招待講演：田窪行則 (国立国語研究所長) 「終助詞と共有知識管理」
50min	招待講演：金水敏 (放送大学大阪学習センター長) 「終助詞、コミュニケーションとキャラクター」
小休憩	
50min	招待講演：平香織 (神田外語大学外国語学部・教授) 「韓国語における終結語尾の選択と発意意図」
10min	ディスカッション
休憩	
16:10-18:10	セッション3: 共感的言語運用能力の習得・発達 司会：那須川訓也 (東北学院大学文学部・教授)
50min	招待講演：野田尚史 (日本大学文理学部・教授) 「日本語学習者の応答表現の運用」
30min	話題提供：鄭 嬌婷 (東北大学国際文化研究科・准教授) 「第二言語習得における双方向言語活動の役割」
30min	話題提供：木山幸子 (東北大学文学研究科・准教授) 「高年齢日本語母語話者の文末表現と自閉スペクトラム」
10min	ディスカッション

2日目：2022/8/12 (金)

10:00-12:20	セッション4: ASDの言語機能の言語学的検証 司会：小泉政利 (東北大学文学研究科・教授)
50min	招待講演：宮川繁 (マサチューセッツ工科大学・教授) 「話し手-聞き手句とコミットメント句における統語論とASD」
50min	招待講演：川原功司 (名古屋外国語大学・准教授)、石塚祐香 (作新学院大学)、吉村優子 (金沢大学) 「自閉スペクトラム症における言語の周縁事象：間投詞とジェスチャーを中心に」
30min	話題提供：遠藤喜雄 (神田外語大学言語科学研究科・教授) 「ASDの言葉の問題をカートグラフィイーで捉える」
10min	ディスカッション
昼休み	
13:20-15:40	セッション5: 共感と言語の神経基盤 司会：木山幸子 (東北大学文学研究科・准教授)
50min	招待講演：梅田聡 (慶應義塾大学文学部・教授) 「共感の認知神経メカニズムからみる自閉症スペクトラムの特性」
30min	話題提供：岩淵俊樹 (浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター・特任助教) 「自閉スペクトラム症の感覚・認知特性と言語」
30min	話題提供：幕内充 (国立障害者リハビリテーションセンター・高次脳機能障害研究室長) 「脳における言語と社会認知の接点」
10min	ディスカッション
休憩	
16:00-17:30	セッション6: ASD者のコミュニケーション 司会：幕内充 (国立障害者リハビリテーションセンター・高次脳機能障害研究室長)
30min	話題提供：和田真 (国立障害者リハビリテーションセンター・発達障害研究室長) 「ASD者の感覚の特徴とコミュニケーション」
20min	話題提供：市川樹 (国立障害者リハビリテーションセンター・発達障害研究室・流動研究員) 「ASD当事者の聴覚過敏性の解明と問題の緩和に向けた機械学習技術によるアプローチ」
30min	コメント：片岡聡 (NPO 法人リトルプロフェッサーズ・代表) 全体の発表へのコメントとNPO活動の紹介
20min	総合ディスカッション
17:40-17:50	閉会の言葉：幕内充 (国立障害者リハビリテーションセンター・高次脳機能障害研究室長)